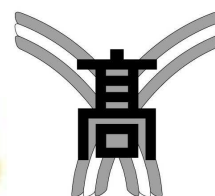


AL道中膝栗毛



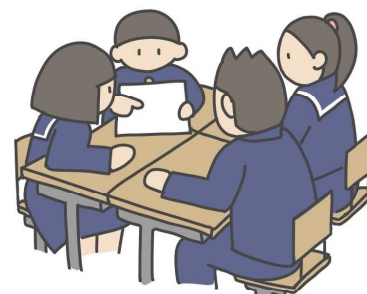
【今年度の校内研修会の日程がまとまりました】

- ・ 6月21日(金) 放課後 授業改善研修会(50~60分程度?)
- ・ 11月 7日(金) 放課後 第1回研修報告会(30分程度)
- ・ 11月21日(木) 午後 公開授業研究会(3時間程度)…地歴公民科・理科・英語科
- ・ 3月19日(木) 放課後 第2回研修報告会(30分程度)

なお、**11月21日(木)の公開授業研究会では、地歴公民科・理科・英語科に公開授業をおこなっていただきます。**対象教科は、広島市立高等学校公開研究授業の本校での実施教科を合わせて考えながら、昨年度より輪番でお願いしています。対象教科におかれましては、5月末をめどに授業者を確定してください。よろしくお願いたします。

【キョウドウ学習について考えてみます①】

前号で「今年度の研究テーマは『学習する集団づくり』と『指導と評価の一体化』に向けた持続的な授業改善」と書きました。このうち、「**学習する集団作り**」のためのキーワードとなるのが「**キョウドウ学習**」です。いわゆるアクティブ・ラーニングに期待される「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」を実現するための、具体的な手法として語られます。



このキョウドウ学習ですが、次のように定義づけることができます。

「キョウドウ学習」とは、自分の意見を持ち、他者と対話することを通じてお互いの学びを最大限に高めようとする学習形態のことである。(昨年度末の、第2回研修報告会の資料より抜粋)

今年度は「各教科においてはどのようなキョウドウ学習が可能か」ということを、年間を通じてみんなで考えていきたいと思えます。

さてここまで「キョウドウ学習」とあえてカタカナで表記してきました。この「キョウドウ」、漢字で書けばどのような字が適切でしょうか。実際のところ、資料や学者によってかなり揺れがあるように感じています。多くは「協同」「共同」「協働」などですが、その意味は微妙に異なります。

- ①協同：複数の人や団体が、力を合わせて物事を行っていくこと。(例) 協同組合
- ②共同：複数人が同じ立場で関わり、一緒に何かを行うこと。(例) 共同トイレ・共同墓地
- ③協働：同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと。(例) 官民協働

本校で「キョウドウ学習」という場合には、①~③のうちどれを使うのが適切でしょうか。委員会としては一つの見解をもっています。**通信の日付をご覧ください。**その理由については、次号に譲ります。